

令和5年度 Mine みらいトーク <個人>

日時:令和5年11月1日(水) 10:30~11:30 場所:厚保公民館 研修室

| | |
|-----|--|
| 個人 | |
| テーマ | <p>○防災に強いまちづくり</p> <p>○農林業(高齢化による担い手不足、Iターン、Uターンの取組について)</p> |

| 要望・質問内容等 | 当日の回答 | 補足説明等 |
|--|---|-------|
| <p>植林の伐採について、一度に伐採してしまうと、防災面の観点から問題があるのではないのでしょうか。規制はできないか？</p> | <p>保安林は現状でも全伐については、届出が義務づけされています。しかしながら、その際に一定面積は伐採しないよう申し入れができるかどうかは、現状ではよくわかりません。</p> <p>このことについては、こういった対応ができるか県とも相談してみたいと考えています。</p> | |
| <p>道沿いの雑草について、近年繁茂が著しい。行政の対応だけでは、対応が困難と感じており、市民みんなで取り組める仕組みがあれば良いと考える。</p> <p>雑草繁茂対応は、災害に強いまちづくりに繋がると考えます。</p> | <p>地域ぐるみの取組としてたとえば、地域総参加活動として地区のゴミ拾い活動などを実施しているところです。</p> <p>この活動の一環として沿道の草刈りの対応ができないか考えてみたいと思います。</p> | |
| <p>近年、熊等の獣が人間の生活圏に入り込んでいる状況がある。原因の一つに獣の食料である木の実が少なくなったからではないか。この観点からもきちんと植林して山を守る取り組みが必要ではないか？</p> | <p>国の森林管理に係る制度では、不在地主の森林については、最終的には市が整備伐採等を行うことが可能となっています。このような取組を通じて市も森林の保全に努めてまいります。</p> | |
| <p>農業の後継者の問題について、まち全体で農業を守る仕組みとして例えば、企業の社員が有償でも、ボランティアでもいいから農作業を手伝うような仕組みが広</p> | <p>収穫支援を市の職員が手伝うというような取り組みができればいいと考えています。ボランティアでは継続性が無いかもしれないので、副業として認めるなどの対応ができればと考</p> | |

| | | |
|---|--|--|
| <p>がれば問題解決につながるのではないかと考えている。</p> | <p>えています。</p> | |
| <p>農業を盛り上げる施策として、生産者は調理法やレシピなどを発信するなど購入者に対する「売り方」をもっと工夫すべきと考える。</p> <p>また、農産物の加工を校舎を活用して生徒が起業のイメージで取り組んでもらうとか、地域全体で農業従事者の裾野を広げるような取組を行っていただきたい。</p> | <p>加工品の製造場所として校舎や調理場のセンター化に伴い廃止する厚保小中の共同調理場が活用できればと考えています。このような取組を通じて、地域ぐるみでの農業の振興に努めてまいります。</p> | |